

**【施策評価調査】**

施策名	1-1-6	適正な土地利用の推進		72	施策目的 政策「1-1.計画的な市街地整備」を実現するためには、快適に暮らせるまちづくりの実現に向け、区画整理事業を計画どおりに実施すること。宝積寺駅周辺地区を整備し、利便性の向上を図ること。景観条例を制定し、良好な景観を形成すること。ですが、そのうちこの施策については、快適に暮らせるまちづくりの実現のため、現況の土地利用特性を考慮したゾーニングを行ったうえで、適正な土地利用が行われるよう、随時見直し検討を行います。
		高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	建設産業部都市整備課	担当リーダー	都市整備担当		
環境変化	平成18年度において、高根沢町都市計画マスタープランを策定し、まちづくりの指針を策定した。				施策内容 用途地域や景観地区などの適正な指定と、適切な見直しを行います。(「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)

**指標**

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：見直し作業進捗率(%)	平成16年度市街化区域560ha	計画	0ha	123ha	178ha	206ha	560ha
	0ha	実績	0ha	0ha	0ha		
指標：		計画					
指標：		実績					
指標に関する特記事項							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	0	20,000	0	0	800,000
	決算	0	4,320	0		

**事務事業事前評価 22年度の組立て**

施策傘下事務事業	事業費	活動指標(アウトプット)	事業の実施によって、施策達成にどう貢献しますか？(アウトカム)	今後の方向性(総合評価)	条件付継続
中坂上土地区画整理事業費	H21 現計 1,000,000	都市計画決定手続の終了	当該地区は、町都市計画マスタープランにおいて、宝積寺中心市街地の人口の増加・定着を補完し、住居系開発等の適正な規制・誘導を図る地区と位置づけられており、快適に暮らせるまちづくりの実現に向け、計画的な市街地の整備が期待できる。		条件付継続
	H22 計画 800,000				
	H21 現計			今後の方向性(総合評価)	
	H22 計画			今後の方向性(総合評価)	
	H21 現計			今後の方向性(総合評価)	
	H22 計画			今後の方向性(総合評価)	
	H21 現計			今後の方向性(総合評価)	
	H22 計画			今後の方向性(総合評価)	

**施策事前評価 22年度の組立て**

自己評価	後期計画に向けた施策展開のビジョン	H22年度の狙い
今後の方向性 現状水準維持	都市計画マスタープランの中間見直しが平成27年度となっていることから、地域経営計画との整合を図りつつ、土地利用特性を考慮し、ゾーニングを設定することとします。	宝積寺中坂上地区にかかる都市計画決定の手続を完了させます。
総合評価	町のランドデザインである都市計画マスタープランとの整合を図りながら見直すことが前提であり、後期計画に向け、町の将来あるべき姿を考えた施策展開を行うこと。また、併せて施策指標も見直すこと。	